

ホ・ロボス 44号

発行人：青山 昭一郎 印刷所：聖恵授産所
発行：静岡改革派キリスト教盲人伝道センター 〒422-8041 静岡市駿河区中田1-5-21
TEL.054-285-0496 FAX.054-285-0746 振替00870-2-7003
Eメール：shizumouden@mail.wbs.ne.jp http://www.wbs.ne.jp/cmt/shizumouden



出会を通して

青山昭一郎

末木理事長の後を受けて、2月8日の理事会で理事長に選出されました。私のような者でよいのかと考えましたが、主の導きと信じて、この仕事に与かります。

センターとの出会いは10年前、佐々木牧師の時代に改革派教会の大会財務委員会で同じ委員を務め、これが縁でセンターの監事を引き受けることになりました。また、3年前ワークキャンプに参加し、デイジー編集を学び、現在、犬山音訳グループ虹の会が音訳された「百万人の福音」のデイジー編集をしております。

考えて見ますと本当に不思議な思いに駆られます。人、言葉、本、テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、私たちは日々様々な出会いをしています。そういう中で自分の生涯を決定づけるような出会いもあります。

ジョン・R・モット(1946年にノーベル平

和賞を受けたアメリカ生まれの世界的なキリスト教指導者、世界教会協議会、世界学生キリスト教連盟の産みの親)は、「あなたは、自分のために偉大なことを求めているのではないですか？ それはやめなさい。まず神の国を求めなさい。」この言葉が彼の生涯を決定することになったと、大塚野百合さんが「出会いものがたり」の中で書かれております。

センターは、青山輝徳先生から始まり、多くの祈りと献金とボランティアのお働きによって、プロテスタント教会ただ一つの盲人図書館が運営されております。どうぞ皆様、センターと出会って下さい。そしてセンターの働きを知って下さり、この事業に参加し、応援して戴きたいと思えます。今年、3名の盲人の方が理事に選出されました。この事業を推進して行くのに大きな力です。本当に感謝です。更に4月から視覚障害者情報総合システム(通称「サピエ」)が運用開始になります。ご期待下さい。

目次

出会を通して 青山昭一郎	1
新理事長・新理事のご紹介	2
2009年度活動報告、2009年度決算報告	3
センターからのお知らせ	4
読者の声	5
奉仕者の声	6
献金者名一覧	6
静岡改革派キリスト教盲人伝道センターについて	8
編集後記	8



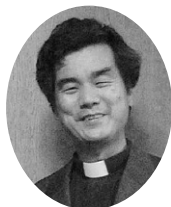
新理事長・新理事のご紹介

2010年2月7日に行われたセンター理事会において、理事長に、青山昭一郎(犬山教会長老)が選出されました。これまでご奉仕いただきました末木理事長(芦屋教会長老)は、大きなご病気の中でよくご奉仕くださいました。本当にありがとうございました。青山新理事長のご挨拶は巻頭言にありますのでご覧ください。新しく選ばれた青山理事長のお働きの上に、主の祝福とお導きをお祈りいたします。

また新しい理事として、田中敏信(矢板教会牧師)、三瓶忠克(日本視力障害者福音伝道協力会会長)、多々良友彦(静岡光の家 理事長)が選出されました。新しい理事の方々は、3人共に目の見えない方々であり、センターの長年の利用者です。利用者としての視点から、よきアドバイスとご支援をいただけるものと期待しています。

新しい理事のご紹介

田中敏信先生



私は、栃木県矢板市で、ホーリネス教会の牧師をしています。東京聖書学院を卒業し、赴任して20年になります。盲伝センターからは、聖書研究のための注解書や神学書の録音図書をお送りいただいています。

29年前に信仰を与えられ、後に主のお招きをいただき、聖書学院に入学しました。センターのライブラリは、大きな助けになりました。授業で、読んでおくよう指定される図書が、何十冊もありました。入学当初、どのようにして読もうか...と途方にくれて、ふとセンターの蔵書目録をみました。なんと課題図書の半数近くが、既に録音図書になっているではありませんか。大きな重荷が、取り去られたように感じたのを覚えています。

近年パソコンの進歩によって、目の見えない私達の読書環境も変化しました。本をスキャナーに乗せてボタンを押せば、パソコンが音声で読み上げます。しかし、音訳奉仕の方の暖かい声での読み上げには、とうてい及びません。これからもセンターの蔵書は、途方にくれる私達の、大きな支えです。



三瓶忠克兄

私をはじめ静岡盲人伝道センターを知ったのは、15年前のことです。視福協(日本視力障害者福音伝道協力会)の実行委員会に出席した時のこと、青山先生(元静岡盲人伝道センター理事長)が同席されていて、視覚障害者のためのキリスト教専門の図書館があることを知り、驚きと感動を覚えました。

しばらく経ってから、私が教会の成人科を担当した時、テキストが墨字しかなかったため、お願いしてデージー図書を作成していただきました。この時は、本当に助かりました。聖書に関することばの読み方が適切で聴きやすかったと思います。私は、中途失明で点字を読むのが遅いため、文書の内容をすばやく読み取るためには、音声図書は必須です。全国にはこの働きに多くの期待を寄せてくださる方々があると思います。視覚障害者理事の一人として、利用者の皆様のご要望にお応えするためのお手伝いのできればと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。



多々良友彦兄 主に招かれて

ハレルヤ。主の御名を賛えます。

長年、敬愛する青山先生をはじめ、センターの皆様からお世話になり感謝いたしております。この度、超教派の盲信徒として小生に要請をされました。高齢微力者の私に何が出来るのか疑問ですが、せつかくのお招きゆえ、理事会の一員に入れて頂きました。どうぞよろしくご教導お願い申し上げます。お伺いする所によれば、盲人伝道センターの設立が昭和43年とのこと、私どもの「静岡光の家」も丁度その頃、県から第二種社会事業施設を認められ、活動を展開。中途失明者の生活支援相談、啓発文化事業、盲用具の斡旋・紹介と多面的に事業を進めて参りました。そういうことで貴センターに一層親しみを感じておりました。それ以来、法規・時代の変遷と伴に中途視覚障害者のリハビリ教

室、生活訓練ホームにウエイトが重くなりました。
 静岡岡伝センターは、わが国唯一のキリスト教情報センターとして名実ともに成果を上げて来られており、改めて敬服いたしております。貴センターが福音施設として益々向上発展されます様、心よりお祈りいたしております。この事業に参画されておられる方々のご健康とご多幸を祈りつ

つ、ご挨拶にさせていただきます。
 み言葉「神を愛する者たち、つまりご計画に従って召された者たちには万事が益となるように共に働くということを私たちは知っています」ローマの信徒への手紙 8章 2節
 栄光が主にありますように。シャローム

2009年度の活動報告

2009.1月1日～2009.12.31

製作状況

	テープ書 (月刊誌)	デジター (月刊誌)	点訳 (月刊誌)		
タイトル数	0	8	268	11	104
(前年比)	(-)	±0誌	114%	±0誌	80%
					±0誌

貸出状況

	テープ図書	点字書	デジター図書
	タイトル数 (前年比)	タイトル数 (前年比)	タイトル数 (前年比)
ご利用者	313 (66%)	44 (110%)	755 (109%)
他図書館	135 (175%)	15 (63%)	633 (173%)
合計	448 (81%)	59 (90%)	1,388 (131%)

※「ご利用者」は当センターからご利用者へ直接貸し出したもの、「他図書館」はないーぶネット経由で他の図書館へ貸出したものです。
 ※デジター図書の貸出しが増えていきます。

ないーぶネットへの登録数 センター関連分

	データアップ数		
	テープ	デジター	点字書
タイトル (前年比)	0 (-)	193 (80%)	37 (30%)

点字データのダウンロード回数

ないーぶネット	(参考) センター貸出しタイトル数
2タイトル(-99%)	61タイトル (点字図書貸出タイトル数)

オンラインリクエスト回数

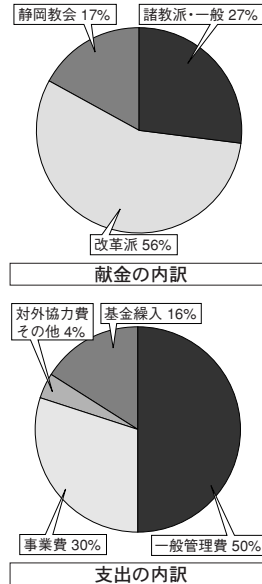
リクエスト送信回数 64回	当センターが借りるため、他館へリクエストを送信したもの
リクエスト受信回数 676回 (169%)	他館から、当センターへのリクエストを受信したもの

(ないーぶネットへ登録してあるデジターおよびテープの貸し出し依頼回数)
 ※ないーぶネットに登録してある図書について、他館からのリクエストも増えていきます

2009年度の決算報告

収支計算書 (2009年1月1日～12月31日) (円)

収入の部	金額	支出の部	金額
諸教派・一般	3,007,133	音訳・点訳関係費	437,346
改革派	6,381,740	機関紙・広報費	1,081,786
静岡教会	1,966,118	研修会費	143,975
献金合計	11,354,991	イベント費	0
雑収入	105,958	図書費	332,764
収入計	11,460,949	会議費	191,423
		通信費	309,258
		修繕費	104,820
		水道光熱費	175,334
		備品購入費	245,663
		ボランティア関係費	143,000
		事務費	178,769
		雑費	6,689
		事業費合計	3,350,827
		対外協力費	120,340
		給与	4,792,750
		通勤費	292,900
		法定福利費	423,832
		賃借料	296,810
		保険料	51,300
		一般管理費合計	5,857,592
		中退協掛金	310,040
		基金繰入	1,800,000
		支出合計	11,438,799
		収支差額 (当期欠損金)	22,150
		合計	11,438,799



貸借対照表 2009年12月31日現在 (円)

資産の部	金額	基金等の部	金額
現金	90,591	預り金	215,271
郵便振替	2,447,532	退職給与引当金	0
普通預金	262,188	一般基本金	18,606,836
郵便貯金	483,539	計	18,822,107
定期預金	0	事業運営基金	402,848
流動資産計	3,283,850		
		建物基金	1,666,733
建物	17,258,338	障害者基金	476,848
器具・備品	1,315,998		
設備	32,500		
固定資産計	18,606,836	センター準備金	500,000
		基金計	3,046,429
		当期剰余金	22,150
合計	21,890,686	合計	21,890,686

センターからのお知らせ

職員二人 → 一人体制へ

多くの方々のご支援に支えられて、センターの働きが続けられてきておりますが、近年、献金額の減少傾向にあり、資金を取り崩すことや、合理化などによって対応してきてまいりました。デジタイ化への移行、そのための設備の必要性もあり、安定的にこの働きを維持していくことを考えて、職員を一人体制にいたしました。アルバイトとしてご奉仕下さっていた方々も、ボランティアという形で奉仕をしていただくことにいたしました。これまでご奉仕いただきました渡井秀雄兄にはとても良い働きをしていただきました。心より感謝いたします。

職員が一人になっても、仕事量が減少するわけではありません。利用者の方々は増加傾向にあります。私どもは、一人でも多くの目の見えない方々、弱視の方々にキリストの福音をお伝えしたいという願いと祈りを持ってこの働きを続けてきております。ボランティアの方々も、実に献身的な思いを持ってこの働きに協力してくださっております。



維持会員の募集

ホ・ロゴスの8ページには、「静岡改革派キリスト教盲人伝道センターについて」という一文を記載しておりますが、盲人の方々にとってこれは必要不可欠な働きなのです。また、今は健康者である方々でも、高齢となり目が見えにくくなることもあります。そのような方々にも、音声や点字などによってキリスト教の月刊誌や書籍が提供さ

れていくことは、主から託された教会の使命であると考えます。この働きを「超教派」で行うことが出来ることも大きな恵みです。

このセンターの働きを覚えて、継続的に祈り、支えてくださる「維持会員」の方々を募集いたします。別紙にて、「静岡盲人伝道センターの維持会員になっていただけませんか。」というご案内を差し上げました。1口(1ヶ月100円)から、何口でも。出来る範囲でご協力いただければ感謝です。

視覚障害者 情報総合ネットワーク 「サピエ」がスタート!

これまで視覚障害者の方々は“ないぶネット”によって貸し出しの検索をしていただいておりますが、現在“サピエ”に移行段階にあります。視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」は、点字図書や録音図書を24時間いつでも読むことができるホームページです。今までは、点字図書を読む(ダウンロード)場合は「ないぶネット」へ、録音図書を読む(ダウンロード)場合は「びぶりおネット」へと使い分ける必要がありました。

4月からは、「サピエ」で点字図書と録音図書の両方を読むことができるようになりとても便利になりました。

サピエのアドレス

<http://www.sapie.or.jp>

サピエ点字図書館では点訳図書やデジタイズした図書を自分のパソコンに取り込んで聴くことができます。利用登録が必要で、聞くためには有料ソフトが必要です。



光吾、山中真矢・理枝、山梨和江、山本康代、吉田京子、吉本一男・淑子、横田岳人・雅美、横田隆・みのり、渡辺基子 匿名

〔諸教派個人〕青木多津江、秋田洋子、芦川悦子、東与三次、阿部雄次、荒井徳雄、石井努、磯村和子、一條シン、岩本たみ、上柳富美子、内村撤母耳、宇都木伸、内海和子、宇野繁博、遠藤征子、大栗幸子、太田秀子、大西弘子、小田陽子、小畑太作、影山笑美子、金岡桃子、金谷政勇、上原菊子、川澄君子、川上静子、河津卓、木崎フサ子、北嶋和枝、絹見重夫、木原康子、経塚武、小出美智子、国府田修二郎、合田徹、小口功、小島芳子、小谷和海・洋子、後藤健一、小林猛、小宮山照子、斉藤潔、斉藤迪子、佐藤恵子、佐藤邦也、座覇律子、沢谷千代子、重本和子、城間祥介、菅原英樹、鈴木経子、鈴木雅雄、武綾子、武井百合子、高橋祐三、多々良友彦、谷川泉、谷川君平、寺島久二、渡嘉敷直豊、永井直、永井英子、中泉栄次、長尾熱子、長崎秀子、永島澄子、永澤芳恵、中谷武夫・真理子、長渡研史・昭子、並木せつ子、南里松、二村厚司、橋原ふみ子、服部時久、花島光男、濱口瑞子、原宏、平野翠、広瀬和弘、福田富美子、藤沢敬子、真柄周吾、榎山信篤、松本進・直子、松本剛典、松本光子、松山和子、三原富美子、宮本博文、宮本三千代、武藤洋子、矢口禎子、山内満智子、山際喜佐夫、山崎久子、山崎保男、山下タカ子、山田ふみ子、山本サキ子、吉岡成二・恵美子、吉川禮子、吉田由臣・ナヲ子、渡井秀雄・幸子 匿名 (一般)金子十三松、塩坂多美子、高岡茂子、中山れい、古川敏子

〔諸教派教会〕(日本基督会)松江会、(日本福音キリスト教会連合)自由ヶ丘キリスト教会、前橋キリスト教会、(聖和会)新井教会、(無教会)浜松聖書集會、(聖公会)沼津聖ヨハネ教会、(基督兄弟団)復活之家ゴスペルハウス、(単立ペンテコステ)岐阜純福音教会大森チャーチ、(単立)大阪中央教会、静岡その枝キリスト教会、福山天使教会、みどり野キリスト教会、八街グレイス教会、(ミッション東北)須賀川めぐみキリスト教会、(在日大韓)明石教会、京都教会、(日本長老)調布南教会、(福音ルーテル)大牟田教会、(キリスト改革長老)東須磨教会、(ホーリネス)大阪栄光キリスト教会、東京基督教会、西落合キリスト教会、(同盟基督)下馬福音教会、(ナザレン)浦添ナザレン教会、(アッセンブリー)下関シオン教会、(イエス・キリスト)高松田村町教会、八幡福音教会、(日キ教会)磐田西教会、宇久井教会、札幌桑園教会、島原教会日曜学校、夙川教会日曜学校、西経堂教会、福岡城南教会、聖園教会婦人会&日曜学校、横須賀教会、(日キ教団)宍岐教会、鹿沼教会、鎌倉雪ノ下教会、高知教会、小倉徳力教会、埼玉新生教会、佐渡教会、静岡教会、静岡一番町教会&こどもの教会、静岡草深教会&婦人会、島田教会、清水ヶ丘教会、頌栄教会、砂町教会、駿府教会、手宮教会、東村山教会、碑文谷教会、深谷教会、松戸教会、松山教会、森小路教会友愛会、三島教会、箕面教会、大和キリスト教会、〔団体〕静岡盲人集會、静岡YWCA、静岡市内盲信徒会、静岡市内キリスト教連絡会、恵泉国際特許事務所、超教派キリスト教視覚障害者友の会、関西盲人宣教会、関西学院宗教活動委員会、静岡クリスチャンクワイヤ

〔改革派〕青葉台キリスト教会、芦屋教会婦人会、厚木教会教会学校、伊丹教会、板宿教会、稲毛海岸教会、犬山教会&兄弟会&姉妹会、江古田教会&婦人会&こどもの教会、恵那教会、大垣伝道所、大阪教会執事会、太田伝道所婦人会、大宮教会&CS、大屋伝道所、岡山教会&婦人会、岡山西伝道所、男山教会、尾張旭教会&姉妹会、春日井教会婦人会、金沢伝道所、勝田台教会&女性会、上諏訪湖畔教会、上福岡教会、川越教会&婦人会、北中山伝道所、岐阜加納教会&婦人会、桑名伝道所、桑名伝道所婦人会、恵泉教会&婦人会、芸陽教会、甲子園教会、高蔵寺教会&姉妹会、高知教会、神戸長田教会、湖北台教会&教会学校、堺みくに教会、坂戸教会、札幌伝道所、静岡教会&婦人会&CS、湘南恩寵伝道所&日曜学校、新浦安伝道所女性の会&SS、神港教会&婦人会&聖書学校、宿毛伝道所、鈴蘭台教会婦人会、関キリスト教会&姉妹会、せんげん台教会、仙台栄光教会、仙台カナン教会、善通寺教会&男子会&婦人会、千里摂理教会、千里山教会&婦人会、園田教会、高島平キリスト教会、高松教会、高松東教会、宝塚教会聖書学校、多治見教会&婦人会、田無教会、千城台教会&女性の会、秩父教会、銚子栄光伝道所教会学校、筑波みことば伝道所教会学校、津島教会、網島教会&男子会&日曜学校、東京教会&有志、東京恩寵教会日曜学校、徳島教会、徳島西部教会、所沢ニューライフ教会CS、豊明教会&姉妹会、那加キリスト教会&婦人会&教会学校、長丘教会CS、名古屋教会&婦人会、灘教会、奈良伝道所、新潟伝道所、西鎌倉教会、八戸伝道所、花小金井教会婦人会、羽生栄光教会CS、東川口教会&

有志、東仙台教会&CS、東広島伝道所、ひたちなか教会、広島教会執事会&婦人会、船橋高根教会&男子会&教会学校、平和の君教会&CS、松戸小金原教会&婦人会、松山教会&婦人会、三郷教会、瑞浪伝道所&婦人会、南浦和教会、南越谷コイノニア教会、南与力町教会、八事教会、山梨栄光教会&教会学校、山本伝道所婦人会、横浜教会&CS、横浜中央教会、四日市教会婦人会、亙理伝道所&付属のぞみ幼稚園、和歌山伝道所 (団体) OPCミッション、シロアムの会、北四国連合婦人会、西部中会連合婦人会、中部中会執事活動委員会、中部中会連合婦人会、聖恵会有志一同、静岡盲人ホーム

*前号において渡嘉敷直豊様が改革派となっていました、諸派の間違いでした。謹んで訂正させていただきます。

尊いご献金を心から感謝いたします。

静岡改革派キリスト教盲人伝道センターについて

◆視覚障がい者とキリスト教点字図書館

視覚または視覚・聴覚の両方から情報を受け取ることのできない障がい者にとって、読書は晴眼者(視覚障がい者に対し目の見える人を指す)以上に重要な意味をもちます。

活字の出版物がどんなにあふれていても、それが点字か音声によらなければ何の役にもたちません。それにより視覚障がい者が読書したいときには、点訳・音訳図書を備えている点字図書館を利用することにより晴眼者と同様本を借りることができます。

しかし、日本国内には一般図書を備えた公共の点字図書館は各地にあります、点字(点訳)と音声(音訳)の両方を兼ね備えたプロテスタントのキリスト教点字図書館は、当館の他にありません。

◆点字図書館の特徴

点字図書館は、晴眼者が利用する図書館と次のような違いがあります。

- ・活字書を書店から選定購入し、点訳及び音訳図書を制作し所蔵する。(当館の場合はプロテスタントのキリスト教書から良書を選定します)
- ・図書の利用について
 - ①全国の読者へ郵便によって点字本・音訳CD・音訳テープを貸出します。
 - ②近年は、点訳・音訳図書もデータ化が進んでいます。これらをインターネット上の視覚障がい者情報総合ネットワーク「サピエ」にアップロード

し、利用者はそこから自由にダウンロードして読書することができます。(インターネット会員になる必要があります)

- ③点訳・音訳図書を制作するために職員、経費、機器、資材などを必要とします。また図書を制作するボランティアの募集や養成、制作に関する情報の収集、マニュアル作成、製作機器習得のため全国の点字図書館会議や研修会に参加します。

◆視覚障がい者への福音宣教に仕えるため

一冊の活字書から点訳・音訳図書になるまでに、当館と点訳者または音訳者そして校正者の三者間を何回も往復します。音訳の場合はこれにデジタル化の作業が加わり、多くの時間と労苦を経て始めて完成されるのです。

これら全ての活動は、視覚障がい者の信徒や求道者の聖書の学び・信仰の養い・伝道・教会または個人のデポーション用テキストの提供他に用いられます。さらには、視覚障がい者の牧師、神学生、教会役員の方々の学習や研究などに必要なキリスト教図書のリクエストにもお応えしていきます。

当館は純粋な福音宣教の活動のために、国からの支援を受けることができず、宗教法人組織で運営されています。

みなさま方の深いご理解、あついお祈りとあたたかいご支援を心からお願い申し上げます。

編集後記

ホ・ロゴス6月号をお届けいたします。

いつも静岡盲人伝道センターの働きを覚えて、お祈り、ご奉仕、ご支援いただきますことを心より感謝いたします。この度は、センターのことを覚えて継続的にご支援いただける「維持会員」募集のご案内をいたしました。これまでご支援いただいた方々や教会の方々も、是非ご登録いただいてご支援いただければ感謝です。主の御祝福が皆様の上に豊かにありますように。 主にありて。 (T)